

# 食の安心・安全座談会を開催

## 要 旨

平成22年2月24日(水)、消費者と生産者の相互理解と関係づくりを目的に、食の安心・安全座談会を開催しました。与謝野町の有機質肥料を使用した「京の豆っこ米」の、自然循環型農業の取組について講演を願い、その後行政、学校給食、消費者、生産者の各々の立場から「丹後の資源を活かした安心・安全な特産物」についての取組報告をしていただきました。農薬・化学肥料の軽減、濁水防止対策としての浅水代かき、土づくり等、環境と生産性の調和を目指す環境保全型農業について理解を深めました。

- 日 時 : 平成22年2月24日(水) 午後1時30分～午後4時00分
- 場 所 : 丹後保健所
- 主 催 : 丹後広域振興局
- テーマ : 「丹後の資源を活かした安心・安全な特産物生産と連携の輪」
- 参加者 : 消費者・学校栄養職員・生産者等 22人
- 講 演 : 「自然循環農業推進のまち与謝野町」 与謝野町農林課 職員
- 取組報告 : 「丹後の環境にやさしい農業について」丹後農業改良普及センター  
「学校給食における”宮津の食の日”の取組み」学校栄養教諭  
「消費者の求める安心・安全な食材」消費生活学習グループ
- 意見交換



新鮮な与謝野町エコファーマー産のみず菜の料理と豆っこ米のおにぎりを参加者で味わいました。

学校給食の地場産農産物の利用促進のために学校と生産者をつなぐ窓口の必要性や、付加価値の高い農産物を利用した郷土食の推進活動についての活発な意見が出されました。

